

2. 令和8年度東日本大震災復興特別会計（復旧・復興）予算事業費・国費総括表（単位：百万円）

事 項	事 業 費			国 費			備 考
	令和8年度 (A)	対前年度 倍 率 (A/B)	前年度 (B)	令和8年度 (C)	対前年度 倍 率 (C/D)	前年度 (D)	
港湾空港鉄道等 港 湾	0 0	皆減 皆減	0 0	0 0	皆減 皆減	0 0	○ 本表の計数は、 復興庁所管である。
住宅都市環境整備 住 宅 対 策	29,061 29,061	0.98 0.98	29,617 29,617	21,051 21,051	0.92 0.92	23,000 23,000	○ 港湾の前年度予 算額は、精算還付 金13千円である。
公園水道廃棄物処理等 国 営 公 園 等	0 0	皆減 皆減	4,056 4,056	0 0	皆減 皆減	4,056 4,056	○ 計数は、それぞ れ四捨五入してい るため端数におい て合計とは一致し ない場合がある。
社会資本総合整備	2,573	0.05	48,660	1,330	0.05	25,981	
一般公共事業計	31,634	0.38	82,333	22,381	0.42	53,037	
災 害 復 旧 等	11,923	1.55	7,709	11,589	1.55	7,488	
公共事業関係計	43,557	0.48	90,042	33,970	0.56	60,525	
行 政 経 費	-	(1.00)	-	799	0.89	901	
合 計	-	(1.00)	-	34,769	0.57	61,426	

3-1-4 令和8年度水管理・国土保全局関係予算

1. 令和8年度水管理・国土保全局関係予算総括表（単位：百万円）

事項	事 業 費			国 費		
	令和8年度 (A)	前年度 (B)	対前年度 倍 率 (A/B)	令和8年度 (C)	前年度 (D)	対前年度 倍 率 (C/D)
治 山 治 水	974,473	977,019	1.00	881,828	877,000	1.01
治 水	954,716	957,528	1.00	864,761	859,986	1.01
（うち、河川関係事業）	782,238	787,089	0.99	721,196	717,815	1.00
（うち、砂防関係事業）	172,477	170,439	1.01	143,565	142,171	1.01
海 岸	19,758	19,491	1.01	17,067	17,014	1.00
住宅都市環境整備	24,957	24,874	1.00	24,957	24,874	1.00
都市環境整備	24,957	24,874	1.00	24,957	24,874	1.00
上 下 水 道	8,980	9,825	0.91	6,726	6,409	1.05
水 道	53,613	54,989	0.97	20,492	20,269	1.01
下 水 道	260,935	216,960	1.20	132,969	111,697	1.19
一般公共事業計	1,322,958	1,283,667	1.03	1,066,972	1,040,249	1.03
災 害 復 旧 等	44,038	35,722	1.23	<39,270> 37,042	<37,211> 30,000	<106> 1.23
災 害 復 旧	21,102	17,907	1.18	18,671	15,162	1.23
災 害 関 連	22,936	17,815	1.29	18,371	14,838	1.24
公共事業関係計	1,366,996	1,319,389	1.04	1,104,014	1,070,249	1.03
行 政 経 費	979	987	0.99	979	987	0.99
合 計	1,367,976	1,320,376	1.04	1,104,993	1,071,236	1.03

1. 本表には、個別補助事業制度新設に伴う社会資本整備総合交付金からの移行分21,600百万円が含まれており、社会資本整備総合交付金からの移行分を含まない場合は国費1,045,372百万円（一般公共事業費計〔対前年度比1.04〕）である。
2. 河川関係事業の事業費及び国費には、ダム関係事業分を含む。
3. 河川関係事業に都市水環境整備事業の国費24,957百万円を含む場合、国費746,153百万円〔対前年度比1.00〕である。
4. 国費の< >書きは、他局の災害復旧関係費の直轄代行分（令和8年度2,228百万円、前年度7,211百万円）を含む。
5. 前年度予算額は、令和8年度との比較対照のため組み替えて掲記してある。
6. 本表のほか、

（1）委託者の負担に基づいて行う附帯・受託工事費として13,092百万円

（2）国有特許発明補償費として0.1百万円

（3）デジタル庁一括計上分として次世代河川情報システム等に係る1,594百万円

（4）省全体で社会資本整備総合交付金459,693百万円、防災・安全交付金852,918百万円がある。
7. 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

<p>取り巻く社会経済情勢の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少社会 人口少子高齢化もたす経済危機 インフラ劣化の更なる急進 	<p>④時代の大きな転換点に立つ、我が国の社会経済情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 実需の減退、景気後退 成長型経済への転換期にある経済 地球規模を越える世界的な急進 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル・新技術の急進的な普及 暮らし、働き方の多様化
<p>重点目標①目指す社会の姿</p> <p>○我が国の将来を先取りできない社会課題、直面し取りあがらざるを得ない、時代の転換点に立ちはたす社会資本整備と、未来を切り拓くインフラ政策を構築</p> <p>○社会経済情勢の変化、インフラ政策の羅針盤として、4つの重点目標を掲げ、それらに目指す姿と、実現に向けての道筋を示す</p> <p>○インフラマネジメントをインフラ政策の核に位置し、国民の共有資産であるインフラを、社会経済の②にふれながら効果的に活用し、価値を創出</p>	<p>③目指す姿を掘る、そこからバックキャストした社会資本整備の②を構築</p>	
<p>人口減少による危機を好機に捉え、一人ひとりが豊かで安心と安全を感ずる持続可能な経済・生活・社会を実現</p>	<p>④国・地方が先導する持続可能な地域社会の形成</p> <p>⑤強固な国土を支える持続的で力強い経済社会</p>	<p>⑥インフラ分野が先導するグリーン社会の実現</p> <p>⑦2050年カーボンニュートラルの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦-1 ⑦-2 ⑦-3 ⑦-4 ⑦-5 ⑦-6 ⑦-7 ⑦-8 ⑦-9 ⑦-10 ⑦-11 ⑦-12 ⑦-13 ⑦-14 ⑦-15 ⑦-16 ⑦-17 ⑦-18 ⑦-19 ⑦-20 ⑦-21 ⑦-22 ⑦-23 ⑦-24 ⑦-25 ⑦-26 ⑦-27 ⑦-28 ⑦-29 ⑦-30 ⑦-31 ⑦-32 ⑦-33 ⑦-34 ⑦-35 ⑦-36 ⑦-37 ⑦-38 ⑦-39 ⑦-40 ⑦-41 ⑦-42 ⑦-43 ⑦-44 ⑦-45 ⑦-46 ⑦-47 ⑦-48 ⑦-49 ⑦-50 ⑦-51 ⑦-52 ⑦-53 ⑦-54 ⑦-55 ⑦-56 ⑦-57 ⑦-58 ⑦-59 ⑦-60 ⑦-61 ⑦-62 ⑦-63 ⑦-64 ⑦-65 ⑦-66 ⑦-67 ⑦-68 ⑦-69 ⑦-70 ⑦-71 ⑦-72 ⑦-73 ⑦-74 ⑦-75 ⑦-76 ⑦-77 ⑦-78 ⑦-79 ⑦-80 ⑦-81 ⑦-82 ⑦-83 ⑦-84 ⑦-85 ⑦-86 ⑦-87 ⑦-88 ⑦-89 ⑦-90 ⑦-91 ⑦-92 ⑦-93 ⑦-94 ⑦-95 ⑦-96 ⑦-97 ⑦-98 ⑦-99 ⑦-100 ⑦-101 ⑦-102 ⑦-103 ⑦-104 ⑦-105 ⑦-106 ⑦-107 ⑦-108 ⑦-109 ⑦-110 ⑦-111 ⑦-112 ⑦-113 ⑦-114 ⑦-115 ⑦-116 ⑦-117 ⑦-118 ⑦-119 ⑦-120 ⑦-121 ⑦-122 ⑦-123 ⑦-124 ⑦-125 ⑦-126 ⑦-127 ⑦-128 ⑦-129 ⑦-130 ⑦-131 ⑦-132 ⑦-133 ⑦-134 ⑦-135 ⑦-136 ⑦-137 ⑦-138 ⑦-139 ⑦-140 ⑦-141 ⑦-142 ⑦-143 ⑦-144 ⑦-145 ⑦-146 ⑦-147 ⑦-148 ⑦-149 ⑦-150 ⑦-151 ⑦-152 ⑦-153 ⑦-154 ⑦-155 ⑦-156 ⑦-157 ⑦-158 ⑦-159 ⑦-160 ⑦-161 ⑦-162 ⑦-163 ⑦-164 ⑦-165 ⑦-166 ⑦-167 ⑦-168 ⑦-169 ⑦-170 ⑦-171 ⑦-172 ⑦-173 ⑦-174 ⑦-175 ⑦-176 ⑦-177 ⑦-178 ⑦-179 ⑦-180 ⑦-181 ⑦-182 ⑦-183 ⑦-184 ⑦-185 ⑦-186 ⑦-187 ⑦-188 ⑦-189 ⑦-190 ⑦-191 ⑦-192 ⑦-193 ⑦-194 ⑦-195 ⑦-196 ⑦-197 ⑦-198 ⑦-199 ⑦-200 ⑦-201 ⑦-202 ⑦-203 ⑦-204 ⑦-205 ⑦-206 ⑦-207 ⑦-208 ⑦-209 ⑦-210 ⑦-211 ⑦-212 ⑦-213 ⑦-214 ⑦-215 ⑦-216 ⑦-217 ⑦-218 ⑦-219 ⑦-220 ⑦-221 ⑦-222 ⑦-223 ⑦-224 ⑦-225 ⑦-226 ⑦-227 ⑦-228 ⑦-229 ⑦-230 ⑦-231 ⑦-232 ⑦-233 ⑦-234 ⑦-235 ⑦-236 ⑦-237 ⑦-238 ⑦-239 ⑦-240 ⑦-241 ⑦-242 ⑦-243 ⑦-244 ⑦-245 ⑦-246 ⑦-247 ⑦-248 ⑦-249 ⑦-250 ⑦-251 ⑦-252 ⑦-253 ⑦-254 ⑦-255 ⑦-256 ⑦-257 ⑦-258 ⑦-259 ⑦-260 ⑦-261 ⑦-262 ⑦-263 ⑦-264 ⑦-265 ⑦-266 ⑦-267 ⑦-268 ⑦-269 ⑦-270 ⑦-271 ⑦-272 ⑦-273 ⑦-274 ⑦-275 ⑦-276 ⑦-277 ⑦-278 ⑦-279 ⑦-280 ⑦-281 ⑦-282 ⑦-283 ⑦-284 ⑦-285 ⑦-286 ⑦-287 ⑦-288 ⑦-289 ⑦-290 ⑦-291 ⑦-292 ⑦-293 ⑦-294 ⑦-295 ⑦-296 ⑦-297 ⑦-298 ⑦-299 ⑦-300 ⑦-301 ⑦-302 ⑦-303 ⑦-304 ⑦-305 ⑦-306 ⑦-307 ⑦-308 ⑦-309 ⑦-310 ⑦-311 ⑦-312 ⑦-313 ⑦-314 ⑦-315 ⑦-316 ⑦-317 ⑦-318 ⑦-319 ⑦-320 ⑦-321 ⑦-322 ⑦-323 ⑦-324 ⑦-325 ⑦-326 ⑦-327 ⑦-328 ⑦-329 ⑦-330 ⑦-331 ⑦-332 ⑦-333 ⑦-334 ⑦-335 ⑦-336 ⑦-337 ⑦-338 ⑦-339 ⑦-340 ⑦-341 ⑦-342 ⑦-343 ⑦-344 ⑦-345 ⑦-346 ⑦-347 ⑦-348 ⑦-349 ⑦-350 ⑦-351 ⑦-352 ⑦-353 ⑦-354 ⑦-355 ⑦-356 ⑦-357 ⑦-358 ⑦-359 ⑦-360 ⑦-361 ⑦-362 ⑦-363 ⑦-364 ⑦-365 ⑦-366 ⑦-367 ⑦-368 ⑦-369 ⑦-370 ⑦-371 ⑦-372 ⑦-373 ⑦-374 ⑦-375 ⑦-376 ⑦-377 ⑦-378 ⑦-379 ⑦-380 ⑦-381 ⑦-382 ⑦-383 ⑦-384 ⑦-385 ⑦-386 ⑦-387 ⑦-388 ⑦-389 ⑦-390 ⑦-391 ⑦-392 ⑦-393 ⑦-394 ⑦-395 ⑦-396 ⑦-397 ⑦-398 ⑦-399 ⑦-400 ⑦-401 ⑦-402 ⑦-403 ⑦-404 ⑦-405 ⑦-406 ⑦-407 ⑦-408 ⑦-409 ⑦-410 ⑦-411 ⑦-412 ⑦-413 ⑦-414 ⑦-415 ⑦-416 ⑦-417 ⑦-418 ⑦-419 ⑦-420 ⑦-421 ⑦-422 ⑦-423 ⑦-424 ⑦-425 ⑦-426 ⑦-427 ⑦-428 ⑦-429 ⑦-430 ⑦-431 ⑦-432 ⑦-433 ⑦-434 ⑦-435 ⑦-436 ⑦-437 ⑦-438 ⑦-439 ⑦-440 ⑦-441 ⑦-442 ⑦-443 ⑦-444 ⑦-445 ⑦-446 ⑦-447 ⑦-448 ⑦-449 ⑦-450 ⑦-451 ⑦-452 ⑦-453 ⑦-454 ⑦-455 ⑦-456 ⑦-457 ⑦-458 ⑦-459 ⑦-460 ⑦-461 ⑦-462 ⑦-463 ⑦-464 ⑦-465 ⑦-466 ⑦-467 ⑦-468 ⑦-469 ⑦-470 ⑦-471 ⑦-472 ⑦-473 ⑦-474 ⑦-475 ⑦-476 ⑦-477 ⑦-478 ⑦-479 ⑦-480 ⑦-481 ⑦-482 ⑦-483